

I-O DATA

LAN DISK

HDL-XVWシリーズ 必ずお読みください

B-MANU202088-01

重要

データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失場合があります。万が一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。

バックアップとは
ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（ハードディスク、やBD・DVDメディアなど）にデータの複製を作成することをいいます。外付ハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることで はじめて「バックアップ」をした事になります。万が一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるためにも、ぜひバックアップを行ってください。

重要

最新ファームウェアでのご利用のお願い

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

箱の中を確認する

- ☐ HDL-XVシリーズ(1式:本体1台、カートリッジ4台)
- ☐ 電源ケーブル(1本)
- ☐ LANストレートケーブル(1本)
- ☐ ロック(LOCK)キー(2個)
- ☐ サポートソフトCD-ROM(1枚)
- ☐ バックアップソフト[ActiveImage Protector Desktop Edition] CD-ROM(1枚)
- ☐ インデックスシール(4枚)
- ☐ 管理マニュアル(1冊)
- ☒ 必ずお読みください(1枚) [本紙]

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロード

ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードは、次のサイトで行えます。その際は、シリアル番号(S/N)が必要です。シリアル番号(S/N)は本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。

- ・ユーザー登録
- http://iportal.iodata.jp/
- ・サポートソフトのダウンロード
- http://www.iodata.jp/lib/

動作環境

パソコン 本製品は、[LANインターフェイス及びUSBポートを搭載し、TCP/IPが正常に動作するパソコン]に対応しています。以下のOSでご利用の場合のみ、サポート対象とさせていただきます。

機種	OS
Windows /パソコン	Windows 8(32・64ビット) ^{※1} 、Windows 7(32・64ビット)、Windows Vista(32・64ビット)、Windows XP、Windows Server 2012 ^{※2} 、Windows Server 2008 ^{※3※5} 、Windows Server 2008 R2 ^{※3※5} 、Windows Server 2003 SP1 ^{※4※5} 、Windows Server 2003 R2 ^{※4※5} 、Windows RT ^{※1} ※6
Mac	Mac OS 10.4～10.8 ^{※7}

※1 設定画面はデスクトップモードで、IE(インターネットエクスプローラ)10の互換モードを有効にしてください。
※2 フレインストールのみ対応
※3 Standard/Enterpriseのみ対応、Server Core モードには対応していません。
※4 Standard(32ビット)/Enterprise(32ビット)のみ対応しています。
※5 本製品上に作成した共有フォルダーへのアクセス、およびNTDメインログオン/Active Directoryログオン機能のみ対応し、Webブラウザによる設定画面操作、プリントサーバー機能等はサポート対象外です。
※6 設定画面のボリューム情報表示で、各ボリュームの詳細が正常に表示されません。
※7 ファームウェアは最新版をご利用ください。

設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のいずれかのバージョンのWebブラウザが必要です。

- ・Internet Explorer バージョン6.0以上
- ・Safari バージョン3.0以上

本製品のeSATAポートやUSBポートにつながる機器（最新情報は、弊社ホームページの製品情報をご覧ください。）

動作確認済み機種の最新情報については、以下の弊社ホームページの製品情報をご覧ください。

■増設HDD

http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_hdd.htm

■USB機器・プリンター

http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_function.htm

■UPS

http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_ups.htm



- バスパワーモードのハードディスクは、本製品には接続できません。必ずセルフパワーモードでご利用ください。
- プリンターの双方向機能には対応していません。
- デジカメはUSBマスタートレージクラスの転送に対応している必要があります。
- USBハブは接続できません。
- 省電力設定の対応機器は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご覧ください。(省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。)

使用上のご注意

全般の注意

■動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源は切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

■カートリッジを取り外す場合は、必ず[ACCESS]ランプが消灯してから取り外してください。

消灯していない状態で引き抜くと、故障の原因となったり、データを消失する恐れがあります。また、しばらく待っても、[ACCESS]ランプが消灯しない(青点灯した)場合、そのカートリッジは取り外せません。再び[スライドスイッチ]を[LOCK]状態に戻してください。

■本製品は、DHCPサーバーがある環境では、自動的にDHCPサーバーよりIPアドレスが割り当てられるため、本製品のIPアドレスを設定する必要はありません。

ただし、DHCPサーバーのない環境(パソコンにそれぞれ固定のIPアドレスを設定している環境)では、ネットワークに応じたIPアドレスを設定する必要があります。(設定方法は、画面で見るマニュアルをご覧ください。)

■本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。

本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

■本製品を複数台ネットワークに導入する場合は、本製品のIPアドレスとLANDISKの名前をそれぞれ別々にする必要があります。(設定方法は、画面で見るマニュアルをご覧ください。)

■本製品内蔵ハードディスクは、本製品専用フォーマットでフォーマットされています。

他のフォーマット形式(FAT、NTFSなど)にフォーマットすることはできません。

本製品および増設ハードディスクのデータ管理について

■設定画面で表示されるハードディスク使用領域とWindowsからネットワークドライブに割り当てしてプロ/パティから見た使用領域の値は大きく異なります。

本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。

正しい使用領域は、本製品の設定画面からご確認ください。

■設定画面上から行うハードディスクのチェックディスク([エラーチェックのみ行う])に要する時間は、ハードディスクの状態や容量により大きく異なります。

通常は、非常に短い時間で終了しますが、ハードディスクの状態により、数分から数時間程度の時間を要することがあります。

■ACCESS(アクセス)ランプ点滅中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。

故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

■本製品の管理者は、すべての共有フォルダーにアクセスする権限をもっています。(Windows/パソコンからアクセスする場合のみ)

セキュリティのため、共有フォルダーにアクセス時のパスワードを定期的に変更することをおすすめします。

■ファイルコピー中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切るとコピーの処理が正常に行われません。本製品や増設用ハードディスクのACCESS(アクセス)ランプを確認の上、電源を切ってください。

ネットワークで共有する場合の注意

■ファイアーウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。

その場合、ファイアーウォールソフト側で、65番、137～139番、445番、51055番、51065番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。

■接続可能端末数について

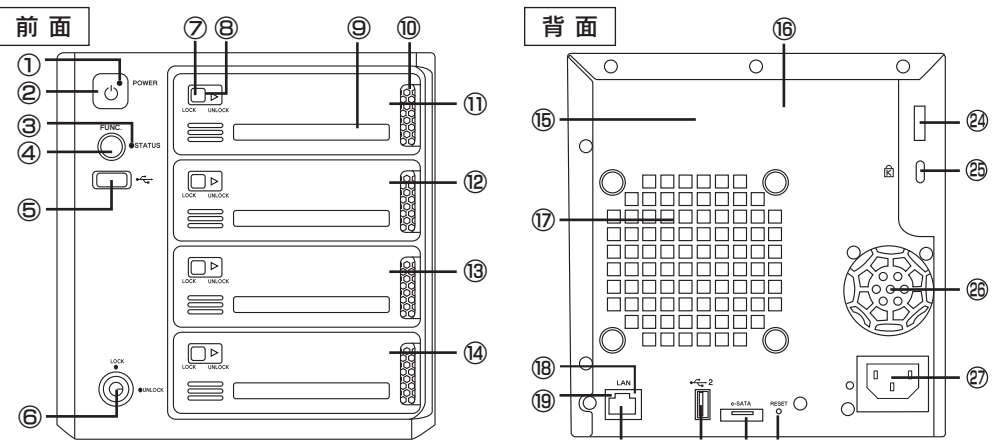
本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windowsでは制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

Windows	推奨する同時接続台数は20台まで
Mac OS	推奨する同時接続台数は8台まで(最大16台まで)

■本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OSにより以下の文字数までとなっています。

Windows	半角255文字(全角85文字)まで ※使用する文字によっては、使用可能な文字数が少なくなる場合があります。
Mac OS	半角255文字(全角85文字)まで

各部の名前



名 称	機 能
①[POWER]ランプ	赤点灯 電源ケーブルが電源コンセントに接続されている状態(スタンバイ状態) 緑点灯 電源が入っている状態 消灯 電源コンセントが接続されていない状態
②電源ボタン	本製品の電源を入/切します。
③[STATUS]ランプ	緑点灯 正常に起動完了した状態 緑点滅 システム処理中 赤点滅 ディスクエラー、使用量警告、UPSに関するエラー状態 (エラーに対処するまで点滅し続けます。エラー内容は設定画面の「お知らせ」で確認してください。) 赤点灯 上記(赤点滅)以外のエラー状態 ([FUNC.]ボタンを押すか、設定画面の「お知らせ」を確認すると緑点灯/点滅に変わります。)
④[FUNC.]ボタン	前面の[USBポート1]に接続したUSB機器のデータを、内蔵ハードディスクにコピーします。 "ピッ"と音がするまで押します。(クイックコピーモード有効時のみ)
⑤USBポート1	USB機器を接続します。 ※接続できるUSB機器については、【USBポートにつながる機器】をご覧ください。 ※[USBポート1]にバスパワーハードディスクは接続できません。必ずセルフパワーにてご利用ください。 ※パソコンのUSBポートとの接続はできません。
⑥カートリッジ固定ロック	UNLOCK すべてのカートリッジのスライドスイッチを操作(LOCK/UNLOCK)できるようにします。 LOCK すべてのカートリッジのスライドスイッチをUNLOCKできない(カートリッジを取り外せない)ようにします。
⑦スライドスイッチ	UNLOCK カートリッジが故障した場合、スライドさせて取り外します。 LOCK カートリッジを取り付けたときにスライドさせます。
⑧[ACCESS]ランプ	青点灯 本製品内蔵ハードディスクへアクセスがない状態 青点滅 本製品内蔵ハードディスクへアクセス中 赤点灯 起動停止/RAID 前壊時にディスクが接続されているスロット 赤点滅 ディスクが故障しているか容量不足 消灯 取り外し処理が完了した状態

名 称	機 能
⑨シール貼付位置	添付の[インデックスシール]を貼る場所です。
⑩取っ手	カートリッジを取り外す時に使用する取っ手です。※吸気口となっていますので、ふさがないようにください。
⑪～⑭カートリッジ1～4スロット1～4	カートリッジを挿入する場所です。 カートリッジ交換時には、右の【オプション品について】をご覧ください。
⑮シリアル番号(S/N)	12桁の英数字です。ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードの際に使用します。
⑯MACアドレス	[00A0B0]で始まる12桁の英数字です。
⑰メインファン	本製品全体を冷却します。ふさがないようにください。
⑱[ACT/LINK]ランプ	黄点灯 LANリンク時 黄点滅 データ送受信中 消灯 LAN未接続
⑲[1000/100/10]ランプ	橙点灯 1000BASE-Tで接続中 緑点灯 100BASE-TXで接続中 消灯 LAN未接続または10BASE-Tで接続中
⑳LANポート	本製品添付のLANケーブルを接続します。 ※Auto MDI/MDI-Xですので、ストレートおよびクロスケーブルのどちらのケーブルでも接続できます。
㉑USBポート2	USB機器を接続します。 ※[USBポート2]には、バスパワーモードのUSBハードディスクは接続できません。必ずセルフパワーにてご利用ください。 ※接続できるUSB機器については、【USBポートにつながる機器】をご覧ください。 ※パソコンのUSBポートとの接続はできません。
㉒eSATAポート	eSATA機器を接続します。 ※接続できるeSATA機器については、【eSATAポートにつながる機器】をご覧ください。 ※パソコンをeSATAポートに接続できません。
㉓[RESET]ボタン	本製品の[IPアドレス][管理者パスワード][ジャンプフレーム]設定を初期化します。(ハードディスク内のデータは残ります。) LANケーブルを取り外した後、本製品の電源を入れたまま、[STATUS]が点滅するまで、約2秒以上押し続けば初期化されます。 ※すべての設定を初期化する場合、本製品の設定画面で行ってください。
㉔セキュリティワイヤー取付穴	市販のセキュリティワイヤーご利用時には、この穴にワイヤーを通してください。
㉕ Kensingtonスロット	盗難防止用のロックケーブルを挿入し、取り付けることができます。 ※Kensingtonスロットとは、Kensingtonロックに合うように作られたセキュリティスロットのことです。Kensingtonロックを固定された安全な机やラックなどに巻き付け、スロットに差し込みカギをかけることで盗難を防ぎます。詳しくは、http://www.nanajoyapan.co.jp/products/security/
㉖電源ファン	電源ユニットを冷却します。ふさがないようにください。
㉗電源コネクタ	添付の「電源ケーブル」を接続します。

共有、ユーザー、グループの設定時の注意

本製品出荷時には、本製品に接続できるすべてのユーザーが読み書きできる[disk1]という共有フォルダーがあります。新規に共有フォルダーを作成することもできます。

■本製品に作成する共有には、「指定ユーザー」および「指定グループ」に、読み書きのアクセス制限を個別に設定することができます。

■本製品に登録可能なユーザー数は最大300個、グループ数は最大100個までとなります。

1グループに登録可能なユーザーは300ユーザーまでとなります。

※登録するユーザー情報(ユーザー名、パスワード)は、WindowsまたはMac OSへログイン時のユーザー情報と一致したものを登録する必要があります。

■設定時に使用できる文字や文字数には制限があります。詳細は、画面で見るマニュアルをご覧ください。

USB機器、eSATA機器を接続する際の注意

■本製品増設ポートに増設できる機器については、左の【本製品のUSBポートにつながる機器】および【本製品のeSATAポートにつながる機器】をご覧ください。

■本製品に増設するハードディスクは、下記のフォーマット形式に対応しています。

	対応フォーマット形式		
	FAT ^{※1}	NTFS ^{※1}	専用 ^{※1}
本製品での対応	読み書き可 ^{※2}	読み込みのみ可 ^{※3}	読み書き可
パソコンに接続した場合	読み書き可	読み書き可	読み込みのみ可 ^{※4}

※1 NTFSでフォーマットする場合は、ハードディスクをパソコンに接続し、パソコン上からフォーマットしてください。(方法については、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。)
本製品に接続後、FAT32または専用フォーマットにフォーマットすることもできます。
※2 ファイルシステムの利用のため、ファイルサイズが4GB(バイト)以上のファイルはコピーできません。
※3 Mac OS の場合、NTFS形式でフォーマットされたハードディスクはワットできません。
※4 添付ソフト[LANDISK Control Panel]をインストールし、[LAN DISK Backup Reader]を使用する必要があります。

■本製品前面および背面のUSBポート(1、2)やeSATAポートには、対応機器以外の機器は接続しないでください。

(USBハブも接続できません。最新の対応USB機器およびeSATA機器は、弊社ホームページhttp://www.iodata.jp/をご覧ください。)

■省電力設定の対応機器は、弊社ホームページhttp://www.iodata.jp/をご覧ください。

(省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。)

■本製品本体とeSATAハードディスクでミラーリングを構築する場合は、内蔵ボリューム1の容量と同じ、あるいは大きい容量のeSATAハードディスクを接続してください。

■バスパワーで動作するハードディスクは接続できません。

■eSATAポートにポートマルチプライヤー(Port Multiplier)は接続できません。

■何らかの原因により、デジカメやUSBメモリより正常にデータをコピーできなかった場合の写真などのデータの補償に関して、弊社は一切の責任を負いません。必ず、転送が完了した後、転送内容をパソコンなどによりご確認ください。

■ファイルコピー中に、ポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。

コピーの処理が正常に行われません。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

■NTFSフォーマットのハードディスクには書き込みはできません。読み込み専用となります。

オプション品について

本製品のオプション品です。

各製品の詳細な情報は弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご覧ください。

◆カートリッジ

以下の弊社ホームページを参照し、本製品の容量にあったカートリッジをお買い求めください。
http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/nas_hdd.htm

※容量の大きいカートリッジに交換した場合、自動的に小さい容量に調整されます。
※交換用カートリッジにはRAIDシステムは入っていません。交換用カートリッジのみでRAIDを再構築することはできません。
※HDL-XV2.0において、1.0TBの交換用HDDを4つ使用してHDL-XV4.0と同容量とする等、後から容量を増やすことはできません。

型 番	HDL-XVWシリーズ
保証期間	ご購入日より 36 ヶ月間有効です

☆お名前	ふりがな
TEL. () -	
〒 -	
ご住所	

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。記入漏れがあると、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。販売店様は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販売店	ご購入日
	住所・店名
	TEL. () -

- ご購入日
- 住所・店名
- TEL. () -
- ご購入日より 36 ヶ月間有効です
- ご購入日
- 住所・店名
- TEL. () -
- ご購入日より 36 ヶ月間有効です
- ご購入日
- 住所・店名
- TEL. () -
- ご購入日より 36 ヶ月間有効です

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社(修理センター宛)にご依頼ください。

